



問 行政経営課 内線 246

Question 1

定住自立圏構想ってなに？

■ 構想の目的

美濃加茂市の人口も、今後の30年間で、大幅に減少するといわれています。人口は、ますます大都市へ集中し、地方の生活環境は非常に厳しくなることが予想されます。

そうなる前に、今から、「美濃加茂はいいところだ。名古屋へ行かなくてもここで十分生活できる」と、皆さんに言っていただける環境を作っていかなければなりません。

では、人が生活するためには、何が必要なのでしょう。まず、住む場所と働く場所が必要です。そして、医療・福祉や治安など安心・安全な環境、そして自然や文化・スポーツを楽しめる場所がたくさんあることなどがあげられます。

そのために、今、地域が持っている魅力を高め、さらに、新しい魅力を生み出すことで、いろいろな生活に対応できるまちをつくる必要があります。

その目的の実現のために、美濃加茂市だけではなく、周辺の町村と力を合わせていくことが大切です。それぞれの地域が持つ魅力をお互いに連携・協力してさらに魅力あるものにしていくことが、定住自立圏構想です。

■ 1対1の協定

「また、合併なの？」と思われるかもしれませんが、しかし、この構想は、合併とは全く違う方法で地域を活性化しようとするものです。

まず、それぞれの地域が持つ強みを探します。そして、一緒に取り組むことにより効果が上がるものがあれば、1対1の協定を結んで、具体的な取り組みを開始します。つまり、周辺のすべての町村と全く同じ基準を決める合併とは違い、お互いの強みをさらに高めようとするのが、定住自立圏構想です。

